

# 広報 大洲

No.21

— おおず —

きらめき創造 大洲市  
— みとめあい ささえあう 肱川流域都市 —



第11回ドラゴンボート大会が3月6日(日)、鹿野川湖漕艇場で開催されました。大会には、競技志向のチームや大会をなごやかなムードで盛り上げようと河童の格好で参加した「本町カップーズ(伊予銀行大洲本町支店チーム)」など大勢の皆さんが参加しました。

10  
2006

## 平成18年10月号

- ☆集中改革プラン実施中 ..... P2～3
- ☆障害者自立支援法 ..... P6
- ☆介護保険料の特別徴収 ..... P7
- ☆老人医療制度 ..... P8
- ☆高齢者等を狙う悪質商法 ..... P13

発行／大洲市役所 編集／総務課  
〒795-8601 大洲市大洲690-1 ☎24-2111

100% PRINTED WITH SOY INK  
広報おおずは古紙の配合100%の再生紙と環境にやさしい「大豆インキ」を使用しています。

# 市の財政は赤信号！

## — 集中改革プランを実施中 —

### なぜ財政危機？ 財政の状況は？

単年度では赤字が続いています！

収入が減少しています！

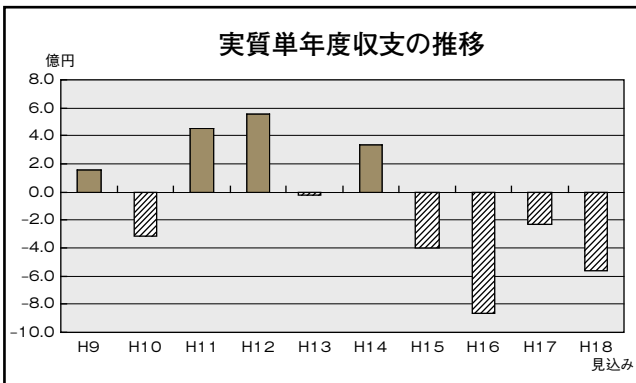
家計でも、臨時収入があったときは、ちょっとぜいたくな買い物をしたり、また、予定していた出費が節約できたときは、将来のために計画的に貯金したりすると思います。

入が減ったり、大規模な事業が必要などや思わぬ災害などで支出がふくらむときがありますので、将来の予測をしながらやりくりをしています。

その反対に、車などの買い替えや予定外の出費があるとき、収入が伸びないときは貯金を取り崩して生活のやりくりをします。

近年は収入が随分減っていますので、支出を抑制し、貯金を取り崩すなどしてやりくりをしています。単年度の実質的な収支を見ても表1（実質単年度収支の推移）のように4年連続の赤字となる見込みです。

表1

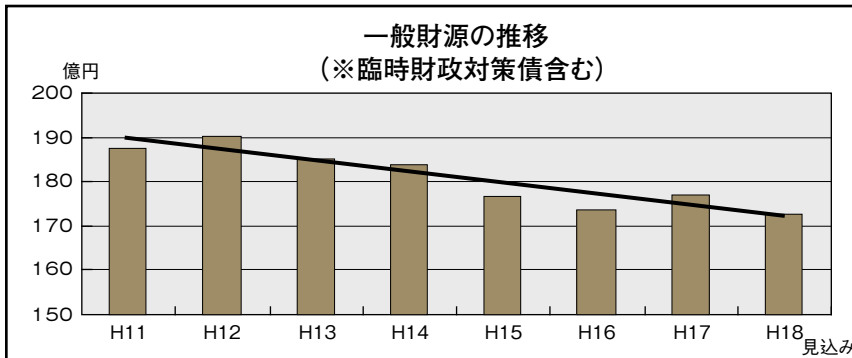


(注)合併前は旧4市町村決算等を合算したものです。以下同じ。

#### ※ 実質単年度収支

実質的な当該年度の収支を明らかにしようとするもので、当該年度のみ収支を明らかにする単年度収支に、実質的な黒字要因である財政調整基金積立金、地方債繰上償還額を加え、実質的な赤字要因である財政調整基金取崩額を控除したものです。

表2

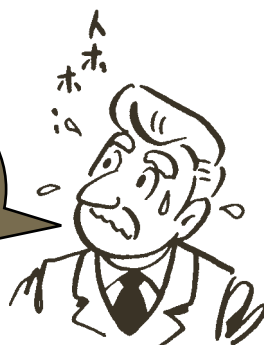


#### ① 一般財源が減少

市の財政は、様々な種類の収入で成り立っています。道路や建物を造る場合は、国・県からの補助金や市債（借金）などの特定財源で支出を賄ったりしますが、通常の行政経費は市税や

地方交付税などの一般財源（使いが自由な収入）で賄います。その一般財源が大きく減少しており（表2）、いままでのサービス水準を維持することが難しくなっています。

なるほど、収入が大きく減少しているんだなあ…。



# 集中改革プランを実施中

表3

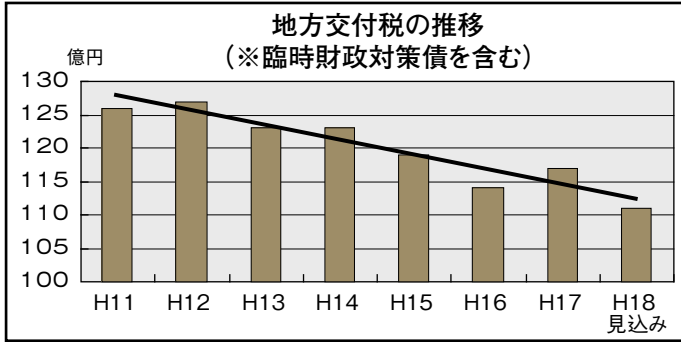


表4

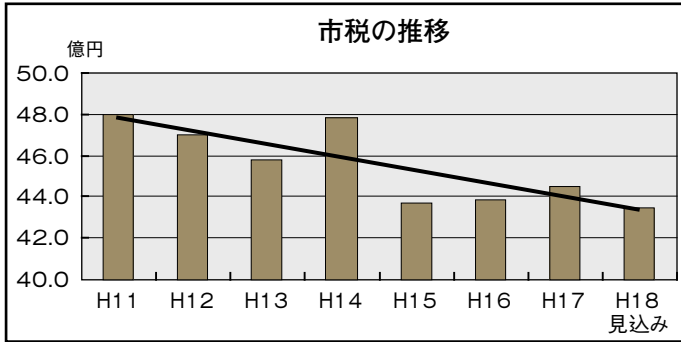


表5

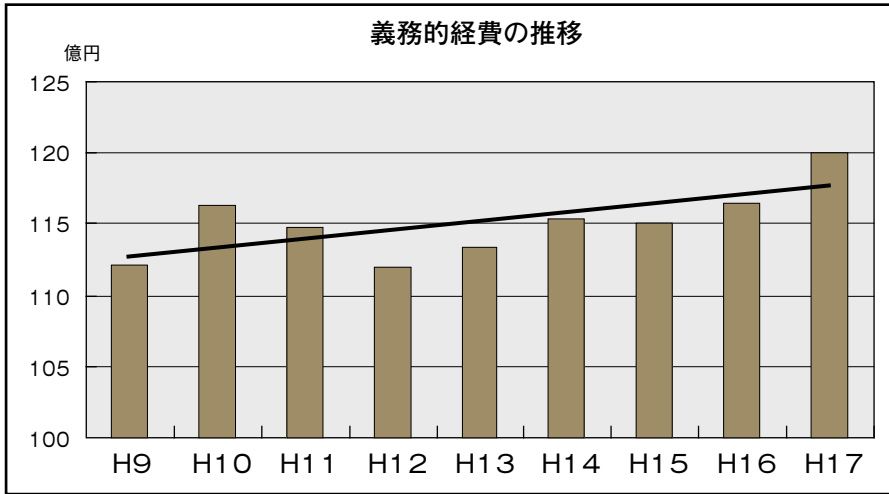
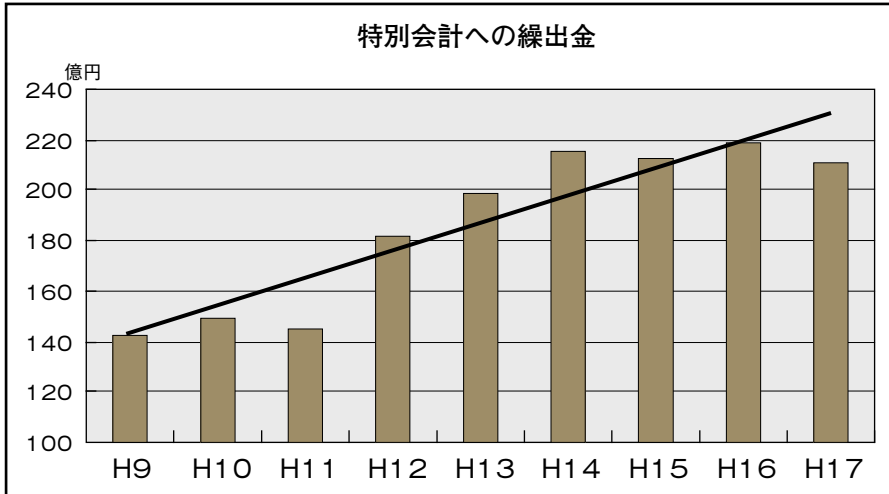


表6



③ **市税が減少**  
市の最も基本となる一般財源は市税(市民税、固定資産税など)ですが、人口の減少や景気などにより減少傾向が止まりません(表4)。

② **地方交付税が大幅に減少**  
過疎地の小規模な市町村でも、全国一律の行政水準が維持できるようにするため、国から交付されるのが地方交付税です。  
大洲市の最大の一般財源で、市税の2倍以上の収入があります。その地方交付税が大幅に減っています(表3)。



① **扶助費、公債費が増加**  
人件費、扶助費(生活困窮者の援助、老人福祉、児童手当などの少子化対策など)、公債費(過去に道路、学校、港湾などの整備のために借りた借入金の返済金)を義務的経費と呼んでいますが、この経費が増加しています(表5)。  
② **特別会計への繰出金が増加**  
大洲市には、国民健康保険特別会計、老人保健特別会計、介護保険特別会計、簡易水道事業

**義務的な支出が増加しています!**

特別会計、公共下水道事業特別会計など、法律などによる社会保障制度や特別な財源を基に運営するため一般会計とは別予算で経営している特別会計があります。  
これらの特別会計を運営し、収入不足をおぎなうための一般会計から支援(繰出金)が多額になっています(表6)。